

リハビリテーション・ケア 合同研究大会「苫小牧2022」



古い事柄から学び、
新たなリハケアを描こう

大会長

橋本 洋一

社会医療法人 平成醫塾
苫小牧東病院 理事長・院長

副大会長

船木 上総

苫小牧東病院 常務理事・副院長

実行
委員長

牧野 茂

苫小牧東病院 理事・医局長

とまこっぴー
(仮称) 苫小牧市

2022年9月30日(金) ~ 10月1日(土)

一般演題募集期間 | 2022年4月7日(木) ~ 6月15日(水)

ハイブリッド
開催!

現地開催 &
オンライン配信

グランドホテルニュー王子 / 苫小牧市民会館 / 苫小牧市文化会館

〒053-0022 苫小牧市表町4-3-1

〒053-0018 苫小牧市旭町3丁目2番2号

〒053-0018 苫小牧市旭町2丁目8番19号

主催

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会 / 一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 / 一般社団法人 全国デイ・ケア協会 /
一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会 / 全国リハビリテーション支援事業連絡協議会 / 全国地域リハビリテーション研究会

大会事務局

社会医療法人平成醫塾 苫小牧東病院 (〒053-0054 苫小牧市明野新町5丁目1番30号)

運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ (〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目1北海道ビル)

TEL : 011-272-2151 FAX : 011-272-2152 E-mail : rc2022@c-linkage.co.jp



2022年苫小牧大会
ホームページ



パンフレットをWEBで
閲覧したい方はこちら

リハビリテーション・ケア 合同研究大会 [苫小牧2022]

大会長からの想い

大会長

橋本 洋一

社会医療法人 平成醫塾
苫小牧東病院 理事長・院長



2022年9月30日(金)10月1日(土)の2日間、北海道苫小牧市のグランドホテルニュー王子、苫小牧市民会館を会場としてリハビリテーション・ケア合同研究大会2022苫小牧を開催させて頂くことになりました。大会長を務めさせて頂く 社会医療法人平成醫塾苫小牧東病院理事長、院長の橋本洋一です。本大会は1997年熊本で産声をあげ、一般社団法人日本リハビリテーション病院・施設協会、一般社団法人回復期リハビリテーション病棟協会、一般社団法人全国デイ・ケア協会、一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会、全国地域リハビリテーション研究会、全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会の6団体が合同で開催して四半世紀が経過しようとしている歴史ある学術集会であります。

この学術集会は10年前の2012年に札幌で開催され、今回の大会は北海道での2回目の開催となります。今回の大会のテーマとして、古代中国の歴史書である『漢書』にあります『覧古考新』を掲げさせて頂きました。この『覧古考新』という言葉は『古い事の良いところを参考にしながらも新しい事を考えよう』という意味です。

2021年7月に開催された第44回世界遺産委員会で『北海道・北東北の縄文遺跡群』が登録されましたが、1万年から1万3千年もの長期にわたって続いた縄文文化の代表的な17の遺跡の中で函館市の大船遺跡、伊達市の北黄金貝塚等の7遺跡が北海道に含まれております。また、先住民族のアイヌ文化の象徴ともなる民族共生象徴空間『ウポポイ』が開設されました。この『ウポポイ』はアイヌ語で『大勢で歌うこと』の意味ですが、まさにこの『ウポポイ』の意味するところのように、地域包括ケアシステムの構築実現も終盤戦に入りましたが、全国の医療機関、介護施設、福祉施設、在宅サービス機関などの多彩な医療福祉機関から多職種の方々が集い、活発な議論を通して、情報交換・情報共有の場を作り上げて戴ければと思っております。

私達は先人の作り上げた日本特有の先史文化である縄文文化から世界最古の土器を制作し、環境の変化に適応しながら自然と共生した人類史上極めて希少な文化を学び、現在直面している気候変動、パンデミックという国家間を越えた難題を乗り越え解決していかなければなりません。先人達が作り上げたリハビリテーション医療を学びながら、ICT、AIそしてロボットリハビリなどの最新のテクノロジー導入を図り一步一步前に進むきっかけとなる大会になればと念じております。新型コロナウイルス感染症によりハイブリッド方式を採用せざるを得ない状況にあります。こういった状況をご理解戴き、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

本大会の見どころ



1 大会長 基調講演

本体会長である、橋本洋一より大会テーマである「覧古考新」に沿って、未来のリハビリテーション・ケアについて、熱い思いをお話し致します。

3 6団体会長対談

前大会初の取組みとなりました、6団体会長対談。未来へ向けてバトンをつなぎ、本大会においても実施に取り組めます。各団体の会長よりリハケアに関する熱い議論が期待されます。

5 特別講演

リハビリテーション・ケアに携わる環境が大きく変化しています。このような時代だからこそ、過去を振り返りながら、未来に向けた新たな取組みを創造するきっかけとなるようなヒントを頂ける筈です！

7 教育講演

脳血管疾患・運動器疾患だけではなく、地域共生に向けての取組みや課題など、リハビリテーション・ケアならではの幅広い内容をエキスパートにご講演頂きます。質疑応答も行いますので活発な意見交換ができるよう楽しみにして下さい。

9 機器展示・セミナー

医療・介護・福祉の垣根を越えて、様々な分野の展示・セミナーを開催致します。未来のリハビリ・ケアを担う、最新鋭のロボット・ICTの展示を準備致します。

2 主催6団体企画

主催である6団体より、シンポジウム形式で熱いメッセージを発信して参ります。

4 シンポジウム

地域リハビリテーションを軸として、過去・現在・未来を考えた医療・介護・福祉に関わる内容をテーマに熱い議論を展開致します。

6 一般演題(口述・ポスター)

ハイブリッド開催とし、現地・職場・自宅のどこからでも発表出来る環境を準備致します。現地入り出来ないオンライン発表者にも現地を味わって頂く嬉しい特典があるかもしれません？！

8 市民公開講座

リハビリテーション医療・ケアの地域啓もうに関するテーマを採り上げ、「生活の中ですぐに役立つ」「生きる力を授かる」お話しを提供して参ります。また、過去の人々から、現在そして未来につなぐ地域共生をテーマにお話しを提供して参ります。

10 オプショナルツアー

感染対応に十分に配慮をさせて頂き、苫小牧地域の魅力を十分にお伝え出来るオプショナルツアーの企画を準備致します。アフターコロナを目指して、長いトンネルを抜け出しましょう。
※感染拡大の状況によっては開催を見合わせる場合がございますのでご了承下さい。



とまチョップとは？

「とまチョップ」は、苫小牧市子ども会議のお友だちに名付けられたんだよ。とまこまいの「とま」、ハクチョウの「チョ」、ハナショウブの「ヨ」、ホッキ貝の「ツ」、ハスカップの「ップ」の組み合わせなんだよ。「とまチョップ」は白鳥がモチーフだよ。しっぽは花菖蒲、ハスカップの首飾りつけていて、ホッキ貝の帽子をかぶっているよ。苫小牧市の観光大使としても活躍中。ラムサール条約登録のウトナイ湖出身だけど泳げないんだ。でもスケートに乗るのは大好き。



とま
チ
ョ
ッ
プ

とまこまい
ハクチョウ
ハナショウブ
ホッキ貝
ハスカップ

開催に向けて 大会事務局より

開催地である苫小牧は、札幌・旭川・函館に次ぐ、道内4番目の中核都市です。苫小牧市は、人口が17万人、道内最大の工業都市でありながら、自然豊かな海と森に囲まれた臨海都市です。前大会に引き続き、ハイブリッド形式での開催と致しますが、コロナ禍の長いトンネルを抜け出すきっかけとなる大会となる様に、多くの方々にご参加頂く、魅力的な大会運営を目指し、準備を進めております。皆さまのご参加をお待ち致しております！



会場のご案内



グランドホテルニュー王子

〒053-0022 苫小牧市表町4-3-1

●JR苫小牧駅から…徒歩5分 ●千歳空港から…バス50分

苫小牧市民会館

〒053-0018 苫小牧市旭町3丁目2番2号

●JR苫小牧駅から…徒歩15分 ●千歳空港から…バス40分

苫小牧市文化会館

〒053-0018 苫小牧市旭町2丁目8番19号

●JR苫小牧駅から…徒歩20分 ●千歳空港から…バス40分

●千歳空港から苫小牧駅まで

…………… JR普通20分 …………… JR特急17分

●札幌駅から苫小牧駅まで

…………… JR普通90分 …………… JR特急50分